

令和6年度秋田県青少年健全育成審議会 第2回環境浄化部会・会議録

(記録：加藤)

開催日時	令和6年11月15日（金曜日）11時35分～12時00分，13時30分～15時00分						
開催場所	秋田地方総合庁舎6階 総605会議室						
出席者 (○印)	石川	伊藤	笈川	大石	大島	草薨	熊谷
	×	○	○	×	○	×	○
	佐佐木	沢屋	高橋				
	×	○	○				
							出席者合計
							6人
							出席率
							60.0%

	区 分	図 書	D V D	映 画	がん具	合 計
	諮 問 数 優 良	6				6
	答 申 数 優 良	5				5

進 行	内 容
事務局	<p>(11:35)</p> <p>ただいまより、令和6年度秋田県青少年健全育成審議会 第2回環境浄化部会を開催します。なお、本日の会議は部会委員10名中、6名の出席があり、過半数を超えておりますので、会議が成立していることをご報告します。</p> <p>この部会の会議要旨については、後日作成する議事概要で原則公表することにしてありますが、個別の委員の名前は非公開としますので、よろしくお願いします。</p> <p>本日の会議で調査審議していただく事項は優良図書の推奨についてですが、この事項に係る部会の議決は、審議会運営要綱に基づき審議会の議決になることをご報告いたします。</p> <p>これからの会議の進行は、部会長にお願いいたします。</p>
部会長	<p>それでは、審議に入ります。</p> <p>優良図書の推奨について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局より、優良図書の推奨についてご説明いたします。</p> <p>県から諮問のある優良図書の推奨に係るものは、書籍6冊となっております。</p> <p>推薦者は、資料7―2の書籍は（推薦者の所属機関名）の（推薦者氏名）氏、ほか5冊の書籍は（推薦者の所属出版社）の（推薦者氏名）氏です。</p> <p>それでは、優良図書の推奨に係る審査方法等についてご説明いたします。</p> <p>対象となる書籍は、あらかじめ各委員に配付し、事前に審査を行っていただいております。各委員による審査結果について取りまとめたものが、資料7―1から資料7―6になります。</p> <p>なお、本日欠席されている4名の委員の方からも審査していただいておりますので、その結果も記載しております。</p>

	<p>この集計表に基づき、優良図書の推奨に係る審議をしていただき、推奨の可否を決議していただきたいと思います。</p> <p>審議の結果、優良図書となった場合は、県内各小中学校、高等学校、特別支援学校、図書館等に通知するほか、県の公式ホームページ「美の国あきたネット」、あきたの結婚・子育て応援情報Webサイト「いっしょにねっと。」へ掲載し周知します。</p> <p>事務局からの説明は以上となります。</p>
部会長	<p>それでは、優良図書の推奨に係る審議に入りたいと思います。</p> <p>なお、推薦や審査方法等、推奨全体に関するご意見を伺う時間は別途設けますので、審議では各書籍へのご意見や審査基準の適否等についてお話をくださるようお願いします。</p> <p>本日は6冊の審議を行います。6冊中2冊は委員全員から総合意見「可」をいただいております、ほか4冊は数名の委員から「否」のご意見をいただいております。</p> <p>「否」のご意見をいただいている書籍の審議に重点を置くため、初めに全員「可」である2冊をまとめて審議させていただきたいのですが、よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>～異議なし～</p>
部会長	<p>それでは、資料7ー1「世界でいちばんリクエストのおおいくつ屋さん」、資料7ー2「彼女たちのバックヤード」の書籍について、こちらは総合意見が全員「可」となっていますが、委員の皆様からご意見、ご質問等ございますか。</p> <p>A委員はいかがでしょう。</p>
A委員	<p>この本を読んで、こうしたくつ屋さんが実在するということを初めて知りました。若い世代に、このようなエピソードを持つ会社を題材とした本を読んでもらうことは、大変有用なことです。</p> <p>審査基準の項目のうち、該当しない部分は「該当なし」と記入しましたが、総じて良い本だと思い、「可」としました。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。他にご意見等ございますか。</p> <p>それでは、ご意見等ないので、決議に入りたいと思います。</p> <p>この書籍については、優良図書として推奨すべきものと認めることにしてよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>～意義なし～</p>

部会長	<p>ありがとうございます。それでは、この書籍は優良図書として推奨すべきものと認めることで議決します。</p> <p>続いて、資料7ー2「彼女たちのバックヤード」の書籍について、こちらも総合意見が全員「可」となっています。委員の皆様からご意見等伺いたいと思いますが、B委員はいかがですか。</p>
B委員	<p>この本は、小学校高学年から中学校1、2年生くらいを対象とした本だと思いますが、同じシーンを登場人物それぞれの視点から描くことで、それぞれの心の機微がかなり詳細に描かれていました。</p> <p>大人でも楽しく読むことができ、子どもたちにとっても、「相手がどう思ってるのか」ということに考えを巡らせる良い機会になると考え、「可」としました。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。他にご意見等ございますか。</p> <p>それでは、ご意見等ないようですので、決議に入りたいと思います。</p> <p>この書籍については、優良図書として推奨すべきものと認めることにしてよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>～異議なし～</p>
部会長	<p>ありがとうございます。それでは、この書籍は優良図書として推奨すべきものと認めることで議決します。</p> <p>続いて、資料7ー3「気候変動を学ぼう 変化の担い手になるために」の書籍について、こちらは総合意見「否」のご意見もございます。</p> <p>まずは「否」とされた委員にご意見等を伺いたいと思います。C委員、お願いします。</p>
C委員	<p>はい。内容は大変よいものだと思うのですが、こちらの本は審査基準の2の（1）のAで推奨の対象から除くこととされている入門書等に当たるのではないかと考え、「否」としました。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。第1回部会において、実用書のような本は推奨の対象から除くとして、審議及び決議した経緯がございます。</p> <p>C委員からこうしたご指摘がありました。ほかに「否」とされたB委員はいかがでしょう。</p>

B 委員	他の委員の方の意見欄にある通り、気候変動の問題について分かりやすく説明されている本で、大変興味深く読ませていただきましたが、私も審査基準の2の（1）のAに該当するのではないかと考え、やむなく「否」とした次第です
部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>「否」とされた委員からは、審査基準により推奨の対象から除くものと判断したとお話がありましたが、このことについて「可」とされた委員の方から、何かご意見等ございませんか。</p>
A 委員	気候変動について分かりやすく説明されていて、審査基準に合致する項目が多かったため、私は総合意見を「可」といたしました。
部会長	ありがとうございます。D委員はいかがでしょう。
D 委員	私は、事前審査では、審査基準の推奨の対象から除くものについては意識しておらず、小学校高学年や中学生が読むことを考えると非常に良い本だと思い、「可」としました。
部会長	ありがとうございます。E委員はいかがですか。
E 委員	<p>私はどちらかというと「否」に近い「可」なのですが、この本を優良図書の推奨の目的に照らし合わせると大変迷うところです。</p> <p>青少年の健全育成を推進するため、また青少年が情操を高めるためのものという点に立ち戻ると、この本はその目的に当てはまるのか悩んでしまいます。</p> <p>内容は大変専門的に分析されていますので、迷った末に「可」としましたが、推奨の目的に照らし合わせるとどうなのかが悩みどころです。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。全員にご意見を伺いましたが、ほかにご意見がある方や考えが変わった方はいらっしゃいますか。</p> <p>第1回部会でもお話しましたが、やはり県で推奨することを考えると、全会一致で総合意見「可」となる書籍を推奨していきたいと考えています。</p> <p>意見が分かれた際、話し合いの結果、意見がまとまった場合はそのまま議決となりますが、今回は実用書の類かどうかという判断で、意見が分かれているところです。</p> <p>なかなか難しい部分ですが、意見が分かれている以上、私としては「否」とせざるをえないと考えますが、皆さんはいかがでしょう。</p>

	この書籍については、推奨を認めないこととしてよろしいでしょうか。
各委員	～異議なし～
部会長	<p>ありがとうございます。それでは、この書籍は推奨を認めないということで議決いたします。</p> <p>ここで、一旦、事務局へ進行をお返しします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。午前の部はここまでとなります。</p> <p>ここで一旦休憩を挟みまして、13時30分より審議を再開したいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>～審議再開～</p>
事務局	<p>それでは、審議を再開させていただきます。</p> <p>進行は引き続き、部会長にお願いいたします。</p>
部会長	<p>よろしくお願いします。</p> <p>それでは、続いて資料7ー4「犬がえらんだ人 捨て犬ドンとおじさんの命のものがたり」の書籍について、こちらは総合意見「否」のご意見もございます。</p> <p>まずは「否」とされた委員にご意見等を伺いたいと思います。B委員、お願いします。</p>
B委員	<p>比較になってしまいますが、こうした犬や捨て犬に関する書籍が数多く出版されている中、この本が特に優れているものとして、県で推奨するものかどうか悩み、「否」とさせていただきました。</p> <p>ただ、審査基準に照らし合わせると合致する項目が多く、私自身、各項目の観点から気付かされた部分もあり、命あるものとの向き合い方が変わる1冊だと感じました。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>「否」とされたB委員からご意見を伺いましたが、「可」とされた委員の方はいかがでしょうか。A委員はいかがでしょうか。</p>
A委員	人としての愛情や生命を尊重する心を育む非常に良い内容と感じました。

	<p>また合致する審査基準の項目も多かったため、総合的に判断して「可」とさせていただきます。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。E委員はいかがですか。</p>
E委員	<p>実は、同僚の小学1年生のお子さんにも読んでもらったのですが、同僚からは、「途中、辛そうにしていたけれど、どんどん読み進めていた様子だった。」と聞きました。</p> <p>秋田県で青少年と定義している6歳以上18歳未満という年齢幅において、段階的に情操心を高めていくということを考えると、読みやすいですし、文字と絵のバランスも見やすく、「可」としました。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。C委員はいかがですか。</p>
C委員	<p>私も昔、子どもが飼いたいということで、犬を飼っていたことがありました。最初のうちは子どもが散歩に行っていたのですが、徐々に飽きてしまったのか、最終的には主に私が世話をしていました。</p> <p>この本には、「飼い始めたら最後まで責任を持たなければいけない」というメッセージがすごく込められていると思います。</p> <p>また、この本が伝えている「生き物に対して愛情を持ち、大事にする」ということは、子どもたちに教えるべきことだと思い、「可」としました。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。他の委員の意見を聞いて、B委員はいかがでしょうか。</p>
B委員	<p>私も、どうしても「否」という意見ではなく、非常に悩んでの意見でした。</p> <p>内容が素晴らしいという点については、私も同じ意見ですので、審議全体の意見を踏まえて「可」とされても、全く問題ございません。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。B委員からも「可」で問題ない旨、ご意見がございましたので、この書籍については優良図書として推奨すべきものと認めることにしてよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>～異議なし～</p>
部会長	<p>それでは、この書籍は優良図書として推奨すべきものと認めるということで議決いたします。</p>

部会長	<p>続いて、資料７－５「専門家と回復者に聞く 学校で教えてくれない本当の依存症」の書籍について、こちらは総合意見「否」のご意見もご置きます。</p> <p>まずは「否」とされた委員にご意見等を伺いたいと思います。Ｃ委員、お願いします。</p>
Ｃ委員	<p>はい。資料７－３と同じく、こちらの本も審査基準の２の（１）のアで推奨の対象から除くこととされている入門書や実用書等に該当するのではないかと考え、「否」としました。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。Ｃ委員からは、実用書等に該当し、審査基準により推奨の対象から除くものと判断したというご意見がありました。</p> <p>続いて、「可」とされた委員の方からご意見を伺いたいと思います。Ｅ委員はいかがでしょう。</p>
Ｅ委員	<p>依存症には様々なジャンルがありますが、薬物問題については、本県においても大麻の乱用やオーバードーズ（薬物の過剰摂取）などが問題となっています。</p> <p>啓発活動の結果、今年は若干件数が減ってきていますが、問題が潜在化してきているように感じますし、ＳＮＳではオーバードーズなどの書込みも見受けられます。</p> <p>そうした状況を踏まえますと、子どもたちに依存症について理解してもらうための本として、こちらの本は大変読みやすいと思います。</p> <p>子どもたちが読みやすいように丁寧に書かれていますし、依存症を一方的に否定するのではなく、危険なんだと子どもたちに気付かせる内容になっているので、分かりやすいという印象を持ちました。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。先ほど、実用書等に該当するのではないかと意見がありましたが、そちらについてはいかがですか。</p>
Ｅ委員	<p>私としては、そのようには捉えていませんでした。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。Ａ委員はいかがですか。</p>
Ａ委員	<p>意見については、Ｅ委員とほとんど同じです。</p> <p>依存症の問題について、分かりやすく、読みやすく書かれていますので、青少年にぜひ読んでほしい本だと思い、「可」としました。</p>

部会長	ありがとうございます。B委員からも、ご意見等をお願いいたします。
B委員	<p>私はC委員と同様、審査基準と照らし合わせて非常に悩んだのですが、学習というより、生き方自体に対する警告であり、体験に基づく内容のため伝わってきやすく、根拠も分かりやすい本だと思いました。</p> <p>そのため、この本を学習のための入門書というジャンルで、大きく一括りにすべきではないと考え、「可」とした次第です。</p> <p>審査基準の2の(1)のアについては、そのボーダーライン上にあるような本の場合、どのように取り扱うか考えなければいけないと思います。</p> <p>「推奨の対象から除くものは、次のとおりとする」と規定されていて、該当する場合は直ちに排除しなければならないため、もう少し緩やかな規定するといった検討は必要かと思います。</p> <p>この本は、形式的には「学習のために供されるもの」に該当する気もいたしますが、優良図書の推奨の趣旨から考えると、推奨してよろしいかと思います。</p>
部会長	ありがとうございました。他の委員のご意見を聞いて、C委員はいかがですか。
C委員	<p>薬物の乱用防止は、保健の教科など教育課程でも勉強することになっています。</p> <p>また、薬物は、大人が考えている以上に子どもたちの身近にあるものだ認識しています。</p> <p>そうしたことを踏まえると、この本の内容はしっかり勉強した方がいいものだと思いますし、子どもたちにぜひ推奨すべきものだと思いますので、推奨に反対はございません。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほか「否」とされた委員が1名いらっしゃいますが、本日欠席されていますので、C委員が推奨することは問題ないとお話されていることから、この書籍については優良図書として推奨すべきものと認めることにしてよろしいでしょうか。</p>
各委員	～異議なし～
部会長	それでは、この書籍は優良図書として推奨すべきものと認めるということで議決いたします。
B委員	すみません、1つよろしいでしょうか。

部会長	はい、どうぞ。
B 委員	<p>遡るようで申し訳ないですが、私は、資料 7－3 の書籍は実用書等に該当するとして「否」とし、資料 7－5 の書籍は「可」としました。</p> <p>私としては、資料 7－5 の書籍はエピソードが多く書かれていて、その点が資料 7－3 の書籍と異なると考えたため、このように区別して判断いたしました。</p> <p>その区別をどのように審査基準へ落とし込めばいいのかは、私の中で答えが出てないのですが、私個人としてはそのような区別で考えていました。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。資料 7－3 の書籍は既に「否」としましたが、資料 7－5 の書籍と比較すると、B 委員のお話のとおり、体験に基づくエピソードが記載されているかどうかという部分に違いがあったように思います。</p> <p>おそらく、2 冊とも基準のボーダーライン上にあると思いますが、資料 7－3 の書籍は、より学習内容に近いような記載が多かったという捉え方になるんですかね。</p> <p>その違いから、今回資料 7－3 の書籍は「否」、資料 7－5 の書籍は「可」ということで確認させていただきますが、よろしいでしょうか。</p>
各委員	はい。
部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、最後に資料 7－6 「てんじつき さわるえほん たのしいらくご① まんじゅうこわい」の書籍について、審議いただきたいと思います。</p> <p>まずは総合意見を「否」とされた A 委員、お願いします。</p>
A 委員	<p>この本を読み、該当する審査基準の項目が少ないことから、総合的に判断し「否」としました。情操心や教養という項目は、教養を高める話なので「○」とし、その他の項目は該当しないと考え、「×」としたところです。</p> <p>ただ、「否」にこだわるものではありませんし、私が「○」とした項目が、審査上、非常に重きを置く項目ということであれば、「可」でよろしいのかなと思います。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>A 委員のお話のとおり、今まで書籍の内容で審議してきており、この書籍の内容が、審査基準の各項目に該当するかどうかと聞かれると、正直難しいところです。</p> <p>各項目に合致するかどうかのみで考えるならば「否」と判断される、というのが A 委員のご意見でした。</p>

	<p>このご意見を聞いて、B委員はいかがでしょうか。</p>
B委員	<p>私も、この本は審査基準に馴染まない書籍であり、形式的に当てはめて審査するのは難しいなと思いながら読んでいました。</p> <p>ただ、この本は点字のほか、点によって絵も表現しています。こうした、視覚障害のある方に、文字情報だけでなく映像も伝わるような工夫がされている点に、感銘を受けました。</p> <p>審査基準に馴染まない書籍ではありますが、今回の審査で1番重きを置く項目を考えるとすれば、「その他青少年の健全な心身の成長に役立つもの」という項目かと思います。</p> <p>今まで、視覚に障害のある方は、絵本で絵を想像することがほぼできなかったと思いますが、このような工夫があれば映像としても楽しめるという点で、非常良いと思います、「可」としました。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。C委員はいかがですか。</p>
C委員	<p>落語という文化を大事にして、落語家の方がこういう本を作ってみようという試みに、とても賛同いたします。</p> <p>落語には様々な内容があるので、他にもたくさん良い内容の落語があるとは思いますが、この試み自体がすばらしいと思いました。</p> <p>障害がある方にとって、落語の入門のような本になりますし、そうした世界に興味を持つきっかけになる本だと思います。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。E委員はいかがですか。</p>
E委員	<p>落語の絵本ということで、興味を引くような絵本だと思います。</p> <p>ただ、6歳から18歳未満という対象年齢を考えた時、正直、刺激的な表現もありましたので、年齢が低ければ低いほど、与える側がその子の能力などを見極めて、読み進めてあげなければいけないという印象を受けました。</p> <p>ただ、落語という日本の伝統文化に根付いているものですので、そうしたものに触れてもらう機会という視点から、総合意見は「可」としました。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。A委員、いかがでしょうか。</p>
A委員	<p>十分楽しめる絵本ですし、私も、視覚障害のある児童などにぜひ読んで欲しいとい</p>

うと思います。

該当する項目が少なかったため「否」と判断しましたが、私が「○」とした項目以外についても、ほかの委員の方々から補完のご意見をたくさんいただきましたので、皆様のご意見を踏まえて「可」として問題ございません。

部会長

ありがとうございます。

皆さんからのご意見を踏まえ、この書籍は優良図書として推奨すべきものと認めるというご意見でよろしいでしょうか。

各委員

はい。

部会長

それでは、この書籍は優良図書として推奨すべきものと認めるということで議決いたします。

ありがとうございました。

以上で、予定していた書籍6冊の審議及び決議が終了いたしました。

それでは、確認になりますが、「世界でいちばんリクエストのおおいくつ屋さん」、「彼女たちのバックヤード」、「犬がえらんだ人 捨て犬ドンとおじさんの命のものがたり」、「専門家と回復者と聞く 学校で教えてくれない本当の依存症」、「てんじつきさわるえほん たのしいらくご① まんじゅうこわい」の5冊を優良図書として推奨すべきものと認めるということで議決いたしましたので、よろしくお願いします。

それでは、進行を事務局へお返しします。

事務局

ありがとうございました。

答申をいただいた優良図書の推奨については、12月中旬をめどに告示し、関係課所に周知したいと考えております。

続きまして、次第3の「意見交換」に入りたいと思います。この時間では、第1回部会でいただいたご意見をもとに、事務局で検討した「優良図書等の推奨の推薦申出に関する要件の案」について、ご説明させていただきます。

～資料8の読み上げにより説明～

部会長

事務局からの説明について、ご意見、ご質問等ございましたら、お願いします。

B委員

現在の状況をお聞きしたいのですが、今回の推薦を含めて、推薦者はほとんど県外の方となっているのでしょうか。

事務局	<p>はい、ほとんどが県外の方からの推薦となっています。</p> <p>今年度は、推薦のあった書籍のうち1冊のみが県内の方からの推薦で、その他は全て県外の方からの推薦です。</p>
B委員	<p>ちなみに、県外からの推薦というのは、団体や法人からの推薦ですか。それとも、個人の方からですか。</p>
事務局	<p>今年度については、県外の出版社からの推薦となっています。</p> <p>昨年度は、県外の個人の方からの推薦でした。</p>
B委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>もう1点質問ですが、県民の方や県内の法人、団体からの推薦は、平均して年に1件ある状況でしょうか。1件もない年もあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>昨年度は、県民の方や県内の法人、団体からの推薦は1件もございませんでした。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。他に、ご意見ご質問等ございませんか。</p> <p>審議の中で、審査基準の記載についてB委員から少しお話がありましたが、そちらについても何かご意見、ご提案がございましたらお願いします。</p>
B委員	<p>資料8の案とは別ですが、推奨の対象から除く実用書等について、どの程度まで除くのか具体的に分かるよう、審査基準の2の（1）のAの規定を改める必要があると思います。</p> <p>現行の規定での取扱いについてですが、事務局で実用書等に該当すると判断した場合は、そもそも審査の対象にならないということでしょうか。</p> <p>それとも、今回資料7-3「気候変動を学ぼう 変化の担い手になるために」の書籍などを審議したように、事務局では受理のみ行い、部会で審査基準に沿って判断するということになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>事務局で受理した時点で、明らかに判断できるものは対象から除くことができるものと考えますが、今回は事務局で明確に判断できるものではなかったため、皆様にご審議いただいた次第です。</p>
B委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>今回、ボーダーライン上にあるような書籍がありましたので、この規定についても</p>

改正の検討が必要と考えた次第でした。

個人的な案ですが、例えば、実用書等に該当するものは「原則、除く」とした上で、その他青少年の健全育成に役立つ特段の事情があれば、推奨の対象とするという形式などがいいかと思います。

部会長

ありがとうございました。

意見交換ですので、他の皆さんからも何かございましたら、お願いします。

C委員はいかがですか。

C委員

世の中に数多くの本がある中、委員だけで候補を探すことは難しいため、こうした推薦という形式がとられていると思います。

対象は書籍のほかに映画や演劇も含まれ、膨大な作品数になるので、推薦する人がいないと成り立ちません。

ただ、文学賞や書店で実施しているコンテスト等は、出版関係からの推薦というより、一般の誰かが読んで良いと思った本を推薦し、選考しているものだと思います。

優良図書の推薦も、自薦ではなく、誰かが読んで、ぜひ子どもたちに読んでもらいたい本を推薦するのがベストなやり方だと思います。

事務局からの案では、発行からの年数に関するものがありますが、それが根本的な問題ではないと思いますし、県内の方からのみの推薦となると、制限がかかりすぎてしまう気がします。

今日で結論は出ないと思いますが、今回1つの出版社から多くの推薦があったことから、今後の対策は考えていくべきだと思います。

部会長

ありがとうございます。E委員は、何かご意見等ございますか。

E委員

出版社からは、様々な視点から良いと考える本の推薦が届くと思いますが、部会では県条例の推奨目的に基づく視点で審議しますので、出版社からの推薦に偏ると、やや視点がずれてきてしまうように感じます。

C委員のお話にもありましたが、青少年におすすめしたい本がある方は県内にも多くいらっしゃると思うので、そうした方に届くように、優良図書の推奨について周知を図るということも1つの方法だと思います。

部会長

ありがとうございます。A委員は、いかがですか。

A委員

資料8の改正案では、推薦者をかなり絞ろうとしている印象を持ちました。

	<p>事務局で、今後の推薦数をどの程度見込んでいるかは分かりませんが、ここまで絞ってしまうと、かえって推薦が出てこなくなってしまうのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>ここ数年、推薦は年に１、２冊ほどでした。</p> <p>今回は想定を超える冊数の推薦がありましたので、改正案の検討に至った次第ですが、案のすべてを追加するわけではなく、委員の皆様からのご意見を踏まえた上で、今後、詳細を検討していきたいと考えています。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。Ｂ委員から資料８の改正案についてご意見ございますか。</p>
Ｂ委員	<p>事務取扱要領の改正案である①、②はそのまま追加していいと思いますが、審査基準の改正案については、③だけの追加でいいと思います。</p> <p>④では価格にも触れていますが、これまで価格によって取扱いが難しかった書籍があつて、この案を検討されたということでしょうか。</p>
事務局	<p>そういった経緯はございません。</p> <p>今回の改正案を検討するにあたっては、他県での基準などを参考にしていまして、価格や発刊からの年数を要件としている県もございましたので、参考までに案に盛り込みました。</p>
Ｂ委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>文学賞などでは、その年に発刊された書籍の中から選定するものが多いと思いますが、優良図書の選定にあたっては、発刊から年数が経った後に再評価される書籍がないとも限りませんので、個人的にはあえて追加する必要はないと思いました。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。ほかに何かご意見等ございませんか。</p>
Ｃ委員	<p>今回、出版社が秋田県に推薦した理由を聞いていましたら、教えていただきたいです。また、他県にも同様に推薦しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>優良図書としては、秋田県以外には推薦していないとのことです。また、秋田県の青少年に特に読んでもらいたい、という特段の理由等は伺っていません。</p>
Ｃ委員	<p>本に詳しく、子どもたちにどのような本を読んでもらいたいかを考えている最も身近な存在は、県内の図書館や書店の方々だと思いますので、そうしたところへ年に１</p>

回、県から推薦を依頼するのはどうでしょうか。

依頼することで毎年推奨はできますし、その上で県内外の方からの推薦も受け付けて審議するのがいいと思います。

まずは、青少年に本を読んでもらいたいと考えている多くの方から、推薦を集められるような基準や要件を検討していただきたいです。

事務局

ありがとうございます。

当課の別チームでは、県内の新聞社さんと連携の上、新聞に絵本の紹介を掲載させていただいてますが、そちらは図書館等の方々から推薦をいただいております。

そのため、当課からお声掛けできる関係機関もいくつかあると思いますし、優良図書の推奨についての周知も行っていきたいと考えています。

また、実用書等との棲み分けについては、今回の審議で大変迷ったところでして、実際には委員の皆様にご判断を委ねる形となってしまいました。

現在の推薦様式には「実用書等は除く」という但し書きは記載されていませんので、様式に但し書きを追加し、その上で事務局で確認し、さらに事務局で判断に迷う場合は委員の皆様にご審議いただく、という工夫を取れたらと考えますが、いかがでしょうか。

C委員

今までは児童文学や絵本の推薦が多く、環境問題や依存症問題を題材にした本の推薦は今回が初めてのような気がします。そのため、実用書等を除くという審査基準が今回とても気になった次第でした。

ただ、審査基準や要件によって、推薦対象を絞りすぎてしまうのもあまりよろしくないのではと思います。

事務局

事務局においても、そのように考えています。ただ、今回のように急に冊数が増えると、取扱いに悩んでしまうのが現状です。

今回、委員の皆様は、事前審査にかなりの時間を要した上で、審議会に臨んでいただいていることと思います。先ほどA委員からもご意見いただいた「どの程度の冊数を見込み、適正と考えるか」ということについて、委員の皆様の感覚をお伺いできればと思いますが、いかがでしょうか。

C委員

正直、今回のような冊数を事前審査するのは大変だと感じました。推奨することを考えると、責任を持って読んで、審査することになりますので、その点は考慮していただきたいです。

部会長	私もC委員と同意見です。
	やはり推奨の可否を判断するためには、単に読むだけではなく、審査基準のどの項目に当てはまるか、何回も考えながら読み直すことになりますので、冊数が増えれば、それだけの時間がかかるというのが正直な感想です。
事務局	ありがとうございます。
	改正案の①は、推薦者の、その年に最も推薦したい本を1冊推薦いただくという趣旨で提示いたしました。
	やはり冊数が増えると、委員の皆様のご負担が増えてしまいます。ただ、年に推奨できる冊数の上限を設けると、多くの推薦が届いた場合、委員の皆様に順位をつけていただくことにもなりかねず、新たなご負担をかけてしまうと考え、①のような案を提示いたしました。
部会長	ありがとうございます。
	まずは幅広く周知を行っていくのが1つの手立てかと思います。
	また、県内の図書館の中には、秋田県の優良図書を参考に、新しい図書を購入している図書館があると聞きました。県から各図書館へ届く通知を参考に、購入しているとのことでした。
事務局	これまで一般の方から推薦がない場合は、秋田県子ども読書支援センターに依頼して、推薦いただいていた経緯はございました。
部会長	そうですね。そちらのセンターは県立図書館内で子ども向け図書を専門に扱っていますし、色々なバックグラウンドを調べた上で推薦してくださっていると思います。
	まずはそちらのセンターから毎年1冊推薦をいただき、それに加えて、より幅広く呼び掛けていけたらいいのではないのでしょうか。
	改正案については、宣伝を意図したものは推奨の対象から除いた方がいいと個人的には思いますので、③は追加していただきたいですが、③を追加するのであれば、その他の案は追加する必要はないように思います。
B委員	宣伝を意図したものかどうか、1度に何冊も推薦が届いた場合は判断しやすいですが、個別に推薦が届いた場合は、事務局で判断することが難しくなると思います。
	ただ、③の要件を部会で判断するとなれば、事前審査を行った上で審議・判断することになると思います。

	事務局では、③を判断するのは事務局側と想定されているのでしょうか。
部会長	審査基準の改正案となると、委員が判断することになってしまうんですかね。
B 委員	<p>そうですね、事務局で受理する段階で判断するのであれば、これは資料 5 の事務取扱要領に含めるべきかと思います。</p> <p>事前審査にかかる時間を考慮するのであれば、事務局で受理する段階で対象から除くという判断ができるように、審査基準ではなく事務取扱要領に入れ込んだ方がいいのではないのでしょうか。</p> <p>この推薦は申請・許可といったものではないので、事務局で除くと判断し、受理しないという取扱いも可能かと思います。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ひとつおりのご意見等が出尽くしたと思いますが、この件については、今後事務局から書面等で再度連絡が届くということによろしいのでしょうか。</p>
事務局	はい。本日欠席されている委員の方々にも、ご意見等をお伺いし、その上で再度、改正案を皆様にお示ししたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
部会長	よろしくお願いいたします。それでは、意見交換の時間は終了とします。
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、最後に次第 4 の「その他」に入ります。</p> <p>全体を通して、皆様から何かご質問等ございませんか。</p> <p>ないようですので、最後に事務局からご連絡をさせていただきます。</p> <p>今年度の環境浄化部会は、本日の部会をもちまして終了となります。</p> <p>事前審査やご審議等、誠にありがとうございました。</p> <p>来年度以降も、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>これをもちまして、令和 6 年度青少年健全育成審議会 第 2 回環境浄化部会を終了いたします。本日は長時間にわたり、誠にありがとうございました。</p>